

研究発表会—プログラム

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/program.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第29回ヨウ素学会シンポジウム

主 催 ヨウ素学会 (SIS)

協 賛 日本化学会

会 期 9月4日(金)9時~17時10分

開催方式 対面式

会 場 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館
(千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR「西千葉」
駅徒歩10分、京成「みどり台」駅徒歩10分
参加登録予約申込締切 8月3日(月)

招待講演 —(9時5分から)—

1. The Emerging Role of Iodine in the Physiology of Plants (Sant'Anna School of Advanced Studies) Pierdomenico Perata

一般講演(口頭発表) —(9時40分から)—

2. 強誘電ハライドペロブスカイト薄膜における巨大シフト電流(東北大理・理研CEMS・理研BZP・東大工・住友化学)○中村優男・三木孝馬・山田朝陽・Gurvan Bossier・足立精宏・橋爪大輔・小川直毅・岡本 敏・十倉好紀・川崎雅司

3. 金属有機構造体を電極材料に用いたヨウ化物イオン電池の開発(米子高専)清水剛志・平尾瑞姫・川田 愛・門脇芽衣・○谷藤尚貴

4. Anticancer Actions of Molecular Iodine in Salivary Gland Cancer: Mechanistic Roles of ROS, p53, and PPARG (Graduate School of Medicine, Juntendo Univ.)○Beate Heissig・Maksym Skrypyk・Iryna Irodionova・Koichi Hattori

5. ポリビニルアルコール中のヨウ素錯配列と可視光吸収の量子化学検討(日東電工・京大)○北井秀幸・武田雄希・星子暁恵・宮崎 司

招待講演 —(10時50分から)—

6. 関東沈み込み帯での世界最大のヨウ素とメタンの濃集(北大理地惑)鈴木徳行

ポスターショートスピーチ —(11時30分から)—

学会賞授与式 —(14時55分から)—

受賞講演 —(15時から)—

7. 実用化に向けたペロブスカイト太陽電池の開発(積水化学工業)○別所毅隆・森田健春・早川明伸

一般講演(口頭発表) —(15時20分から)—

8. ヨウ素原子の高い原子屈折率と分子間相互作用を活用した高屈折率・高アッペ数ポリマーの合成(関西大理理工・阪大産研)○筒井涼太・岡本一将・工藤宏人

9. 超原子価ヨウ素酸化剤を活用する脂肪族アミンの触媒的分子内C(sp³)-Hアミノ化(阪大院工)○大瀬良航平・清川謙介・南方聖司

10. PhI(OAc)₂とSOCl₂からのジクロロヨードベンゼンの系中発生活の開発と塩素化反応への応用(近畿大理)○松岡純平・中岡玖美・佐藤春妃・井澤香林・中村 光・前川智弘

11. アルカリ金属ヨウ化物が促進するEDA錯体を經由した可視光駆動型炭素-フッ素および硫黄-フッ素結合の還元(学習院大理)○内倉達裕・坪 楓愛・大橋夏帆・勝見桜子・塩手 風・秋山隆彦

招待講演 —(16時20分から)—

12. Leveraging Hypervalent Iodine for Nitrogen Insertion (ETH Zürich) Bill Morandi

一般講演(ポスター発表) —(13時20分から)—

千葉大学けやき会館3階レセプションホール

01. ヨウ素/トリフェニルホスフィン/水を用いた芳香族アルキン・アルケン類の水素化反応の開発(佐賀大院先端・佐賀大農・阪公大院工)○木下莉奈・石角知佳・小川昭裕・川口真一

02. 長鎖アルコキシ基を導入したヨードシル

アレーンの開発と応用(東農工大院工)○川瀬祥生・手塚瑤子・砂川 駿・坪内 彰・齊藤重紀夫

03. イミノヨードゲンを利用した α 、 β -不飽和カルボニル化合物の変換反応(東農工大院工)○中野紗希・児玉麻華・坪内 彰・齊藤重紀夫

04. Lewis 酸複合型超原子価ヨウ素を用いたシンナミルアミン誘導体のアシルオキシアリル化反応(千葉大院理)○玉木大智・森山克彦

05. 超原子価ヨウ素を用いた三置換オキサゾールの合成とfarglitazar 誘導体の開発研究(昭和薬大)○石田寛明・朝岡ちひろ・岩本遊磨・本間翔也・伊藤俊将

06. 超原子価ヨウ素反応剤によるチオグリコシドの活性化を利用したN/O-グリコシル化反応(立命館大薬)森本功治・○土屋美桜・谷口七菜・北 泰行

07. 環状ジアリールヨードニウム塩の開環ホウ素化(東北大院薬)新敷菜央・池下大智・○吉戒直彦

08. Arylbenziodoxaborole を用いるアライン発生条件下でのNBS/NIS 選択的反応(青森大薬・UMD・東農工大院工・信州大繊維・東大院薬)○吉村 祥・銭谷あかり・Viktor V. Zhdankin・齊藤重紀夫・木村 睦・内山真伸

09. β -シリルエチニル(アリール)- λ^3 -ヨードゲンの実用的合成法(慶大薬・東大院薬・信州大繊維)○宮本和範・渡辺 楓・川島功暉・小林和希・木村 睦・内山真伸

10. ジアリールヨードニウム塩を用いたイソチオロニウム塩へのカップリング反応(立命館大薬・立命館大総研)○BAE Taeho・柳川友翔・北 泰行・土肥寿文

11. フッ素置換ヨードニウム塩を用いたベンズアミド類のN-アリール化反応(立命館大薬・立命館大総研)○嶽山友貴・BAE Taeho・菊嶋孝太郎・北 泰行・土肥寿文

12. ハロゲン結合/水素結合供与型ハイブリッド触媒による二酸化炭素固定化(千葉工大理工・千葉工大工)○千葉結生・五所凌介・山岡桃子・吉越裕介・原口亮介

13. ハロゲン結合によるN-アシルニトレン等価体の触媒活性化とその応用(京大院・金沢大院薬)○依 龍太郎・西川拓杜・喜屋武龍二・浜田翔平・古田 巧・小林祐輔

14. キラル次亜ヨウ素酸塩触媒を用いる酸化的脱芳香族スピロジヒドロ-1,2-オキサジンの不斉合成(名大院工)○LIANG Yaohan・加藤丈裕・ウヤヌクハメット・石原一彰

15. 亜鉛複核錯体を触媒とする7員環不斉ヨードラクトン化反応(千葉大院理)○千葉隆平・南波侑希・荒井孝義

16. 尿素部位を有するキラルハロニウム塩触媒による連続不斉四置換炭素構築(千葉大院工・千葉大IAAR)○藤田恭平・小林志奈野・三野 孝・吉田泰志

17. ヨウ素を用いる芳香化エーテル化反応によるp-ターフェニル類の合成(埼玉大院理工)○池田日輪・木下英典・三浦勝清

18. 四ヨウ化チタンによる α -アシルアミノニトリルの分子内環化反応を用いた5-アミドオキサゾールのワンポット合成(三重大院工)○橋本稜雅・上村太一・八谷 巖

19. ヨウ素を利用する[1]ベンゾチエノ[3,2-b][1]ベンゾセレンフェンの合成(千葉大院融合)○水谷陽平・永野克樹・吉田和弘

20. ヨウ化ペルフルオロアルキルを用いた可視光触媒による含フッ素芳香族アミノ酸及びペプチドの合成(お茶女大院理)○斎元 葵・

山口愛織・矢島知子

21. アザボロール類の動的共有結合化学(千葉大院薬・理研)○漆畑舞人・塩塚 朗・橋本卓也

22. ヨウ素置換3,4-ジフェニルオキサジアゾール-3-イウム-5-オラート類の結晶構造(千葉大院工)○佐藤駿真・赤染元浩・松本祥治

23. ハロゲン結合と層状ヘリンボーンパッキングに基づく有機極性結晶の開発(阪公大院工・阪公大RIMED)○大垣拓也・中野翔太・山浦太佑・松井康哲・池田 浩

24. 側鎖にトリヨードフェニル残基を有する熱可塑性ポリエステルおよびポリカーボネートの合成とそれらの屈折率特性(関西大院理工)○多田遼太郎・工藤宏人

25. 超原子価ヨウ素レドックスを利用する置換ヨードアレーン化合物の電極特性(東理大理・九大先導研)○中本康介・伊藤正人

26. 非対称ヨウ素・アルキル置換による有機半導体の分子配向制御と電荷輸送特性(山形大院有機)○連見 翔・荒川瑛希・松永 周・羽佐田麻衣・片桐洋史

27. 新型ヨウ化物イオン蓄電池の開発と充放電特性評価(米子高専総合工・慶大環境)○平尾瑞姫・川田 愛・清水剛志・谷藤尚貴

28. スプレーコート法による赤色発光ペロブスカイト量子ドットフィルムの高性能化(山形大理工・伊勢化学・日本ゼオン・山形大院有機材料シスセ)○一ノ宮和奏・吉田謙伸・浅倉 聡・柏木幹文・増原陽人

29. 配位子交換を利用したCs-Cu-I系発光ナノ材料の高輝度化(熊大産ナノ・熊大院自然)○明石優志・Paundra Rizky Pratama

30. ヨウ素を用いた鉄スクラップからの脱銅・脱錫(千葉工大理工・千葉工大工)○青山涼平・田中亮介・永井 崇

31. Supramolecular Networks in the Oxidative Dissolution of Pd Powder with Dihalogen/Interhalogen CT-Adducts (Università degli Studi di Cagliari) Anna Caria・M. Carla Aragoni・Alessandra Garau・○Vito Lippolis・Enrico Podda・Massimiliano Arca

32. IO₃⁻からI⁻へ: ヨウ素酸還元酵素の6電子還元機構(千葉大院園芸・埼玉大院理工)○佐藤陽彦・藤城真史・相 場 伶・天知誠吾

33. ヨウ素酸化酵素(iox)の銅誘導発現と複合体サブユニットの変化(千葉大院園芸)○井村知沙都・天知誠吾

参加登録費 (予約) 正会員 1,000 円, 協賛学会会員 1,000 円, 非会員 5,000 円 (予稿集付き) (8月3日(月))以降に入金の場合は予約金 +1,000 円を頂戴いたします。確実な事務手続き遂行のため、早めのご入金をお願いいたします。学生無料。SIS REPORT (予稿集収載) 2,000 円 (正会員, 学生会員には SIS REPORT を無料配布)。クレジットカードでの支払いを希望される方は下記 HP をご確認ください。

懇親会 9月4日(金)17時30分~19時, 千葉大学内大学生協フードコート2にて。会費 5,000 円 (学生 2,000 円)。クレジットカードでの支払いを希望される方は下記 HP をご確認ください。

参加登録予約申込方法 E-mail 申込先 ヨウ素学会 下記 E-mail 問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター内 ヨウ素学会事務局 電話/FAX (043) 290-3402 E-mail: sis@fiu-iodine.org <https://fiu-iodine.org/>